

扶桑町図書館 ～開館30周年～

特集

町政

情報

募集

保健

扶桑町図書館は、昭和62年7月に開館しました。翌年には、複製画の貸出を開始するなど、先進的な取り組みも実施しています。平成20年には、図書貸出のインターネット予約を開始するなど、電子化にも努めています。広域的には、平成16年に春日井市・小牧市・犬山市・江南市・岩倉市・大口町の公立図書館と相互利用を開始するなど、利便性の拡大を図っています。運営では、利用者のリクエスト対応、読書の入り口となる「読み聞かせ」に力を入れ、ボランティアに支えられ「おはなし会」「展示会」「工作教室」等の各種事業を展開しています。



現在、「町民の暮らしの中に生きる図書館」をテーマに、子育て関連の図書にも力を入れ、148,055点（平成29年3月31日現在）の蔵書数と各種事業にて、皆様のご利用をおまちしています。

10年前は…？ 当時の利用ベスト図書

平成8年度	遺産（下）／シドニィ・シェルダン
平成18年度	ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団（上）／J. K. ローリング
平成28年度	虚ろな十字架／東野圭吾

ふそう町民会議からの「まちづくり提言書」が提出されました

政策調整課 内線 315



公募による町民の方18名と役場職員7名の計25名による「ふそう町民会議」より、平成30年度から39年度を計画期間とする第5次扶桑町総合計画策定のための「まちづくり提言書」が4月5日（水）に千田勝隆町長に提出されました。

会議では、「生活環境」「健康・福祉・医療」「教育・文化」「都市整備・産業」の4つのグループに分かれ、まちの現状や課題を見つめて「10年後の扶桑町がめざす姿」の実現にむけてのアイデアを出し合い、平成28年10月より平成29年3月までに7回の議論を行い、取りまとめました。

